

メビウス∞レポート

特定非営利活動法人メビウス千葉 活動報告書

令和6年7月～9月号（第20号） 令和6年10月 日発行



暑かった夏が終わり、爽やかな秋風が心地よい季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。日頃からメビウス千葉の活動にご理解・ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご厚誼を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本町小学校前の草むしりを行いました。



昨年に引き続き、7～8月に4回にわけて、本町小学校前の花壇の草むしりを行いました。毎回10名前後の参加がありました。

暑い中、方々に伸びている草をむしるのは大変な作業ですが、皆黙々と取組み、花壇はきれいになりました。



新三味線教室、継続中。



4月に始まった新三味線教室では、引き続き毎週1回のレッスンを受けています。参加者が少ないのが悩みですが、12月には本円寺（千葉市中央区）で開催される保護猫のチャリティイベントにて披露する予定になっています。



B B Q大会を行いました。



9月9日（月）、千葉ポートパークバーベキュー場でB B Q大会を開催しました。毎年の恒例行事となっているB B Qですが、今年は天候にも恵まれ、職員を含め総勢26人の参加となりました。

参加者ひとりひとりが役割を持ち、前日までの買出しや事前調理、当日の運搬やゴミ収集など、それぞれ責任を持って行いました。

みんなで協力して達成する喜びと楽しみを感じました。

来年も開催予定です。



メビウス米の新米を収穫しました。



メビウスファームでは、今年はコメの作付面積を去年の2倍にあたる10反に広げました。10反は約10,000平方メートル（約3,000坪）です。新米の収穫量も去年の倍量となりました。稲刈りの仕方やコンバインの運転を教えてもらいながらの作業でしたが、今後は自分たちで農機具を使いこなせるようになるのが目標です。

畑では、枝豆やさつまいも、サトウエンドウが穫れました。これからは大根とキャベツの栽培が始まります。



条件反射制御法学会にて発表を行いました。



条件反射制御法学会 第13回学術集会
病的窃盗、病的ギャンブル、
摂食障害への対応

2024年9月14日(土) 10:00~17:30
ハイブリッド開催 現地開催・LIVE配信
AP東京丸の内 (東京駅より徒歩6分) 千代田区丸の内1-9-1 日本郵政ビル内4F・5F

基調講演 二足歩行による思考と意識の成立
講師: 平井慎二 (下総精神医療センター)

教育講演 摂食障害の多様性について
〜摂食障害の精神鑑定事例も含めて〜
講師: 三井信幸 (北海道大学病院)

シンポジウム 窃盗反復者の責任能力
シンポジスト: 平井慎二 (下総精神医療センター)
岡田章司 (岡田法律事務所)
山本勝之 (成城大学)

一般演題 3題
体験発表 (2名)

お問い合わせ
条件反射制御法学会事務局 E-mail: crct.mugen@gmail.com
会場: 寺内 (下総精神医療センター内) TEL: 043-291-1221 (内線: 426) 受付時間: 平日 9:00~15:00

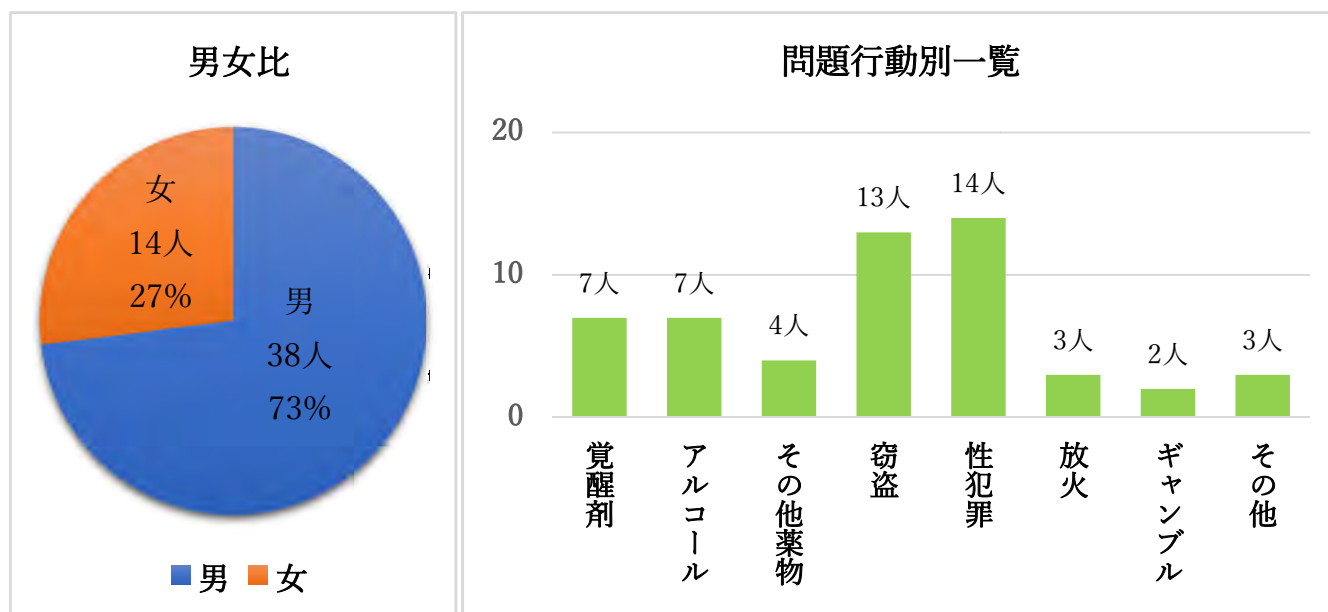
9月14日(土)、条件反射制御法学会 第13回学術集会が開催されました。メビウスからは鈴木施設長と入寮者2名が参加しました。

過去3年の学術集会では、防御本能の過剰な作動、薬物乱用、生殖本能の過剰な作動がテーマとされました。今年は「摂食本能の過剰な作動」に焦点を当て、「病的窃盗、病的ギャンブル、摂食障害への対応」について、平井先生の基調講演をはじめ、各分野・方面からの講演がありました。

鈴木施設長は「病的窃盗に対する社会内疑似」を演題にメビウス千葉における取組みについて講演し、入寮者はそれぞれ CRCT を受けての体験を発表しました。この2名は病的窃盗と病的ギャンブルの当事者です。

発表後の質疑応答とシンポジウム「窃盗反復者の責任能力」では、現場での具体的な対応や事例研究をもとに活発な意見交換がありました。

メビウス千葉 利用状況



総在籍者 2024年(令和6年)9月30日時点男性38名 女性14名 計52名

※入院中: 16名(下総精神医療センター10病棟: 10名、他施設等: 6名)

入寮: 7月 1名、8月 1名、9月 1名 退寮: 7月 0名、8月 0名、9月 4名
入院: 7月 4名、8月 3名、9月 4名 退院: 7月 2名、8月 2名、9月 7名

自立訓練（生活訓練）利用者 4名
居宅介護利用者 2名
施設内食堂担当 1名、補助 2名
ペーパードライバー講習参加者 3名

就労継続支援B型利用者 7名
下総精神医療センター 外来作業療法利用者 1名
メビウスファーム参加者 10名
除草作業（メビウス施設内） 2名

相談支援事業所メビウス 動静報告。



相談支援事業は新たに外部の利用者1名と契約しました。

メビウス千葉ではグループホーム事業開始に向けて準備しており、今後はグループホーム利用の計画作成が増える予定です。

		7月		8月		9月	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性
新規契約	外部					1	
	メビウス	1				1	
サービス等利用計画案作成	外部						
	メビウス	1		1			
モニタリング	外部	1	1	1	1		1
	メビウス	2		4		1	2

3か月を振り返って。



この3ヶ月、調子を崩して救急搬送されたり、問題行動の再発により警察のお世話になったりする人が頻発し、対応に追われました。一方で、自身の問題に真剣に取り組み、回復し、就職するなど、社会復帰に向けて着実に進んでいる人もいます。9月の学会発表では社会内疑似について報告したことで、日頃の疑似への取り組み方について再考させられました。医療も司法も行政も家族も、私たちも、支援することはできます。しかし本当に自分の問題行動から脱却したいと思ったら、こういった環境に在ろうと最後は本人次第なのではないでしょうか。

寄付金のご協力をお願い

メビウス千葉は、「千葉まちづくり応援寄附金制度」の対象団体となっています。千葉まちづくり応援寄附金制度とは、一定の要件を満たした対象団体の中から、応援したい団体を指定して寄附ができる千葉市の新しい制度です。

「まち寄附」はふるさと納税制度による税控除を受けることができます。

皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

詳しくは千葉まちづくり応援寄付金のホームページをご覧ください。

<https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/jichi/machikifu-top>